

平成30年(2018年)10月1日号(No.192)

## 「全国学力・学習状況調査」が返ってきたとき

伊丹市立総合教育センター

所長 太田 洋子

今年も、7月末に「全国学力・学習状況調査」の結果が返ってきました。この調査は平成19年度に始まり、途中3年間の抽出実施期間はありましたが、今年で12年目を迎えます。対象は、中学校3年生、小学校6年生で4月の第3もしくは第4火曜日に実施しています。今年度実施教科は算数・数学と国語と理科(2012年から、3年に1回)の3科目でした。国語と算数・数学についてはこれまで、知識力を問う問題(A)と知識活用力を問う問題(B)の2種類に分かれて実施してきましたが、来年度以降はこれが一本化されることが決まっています。さらに、来年度は中学校英語が初めて実施されます。児童・生徒の学習・生活環境のアンケート調査である「学習状況調査」も同時に行われ、学力と生活実態等の相関関係も示されます。



結果が返ってくると、担当する教科の教員は少しときどきしながら見えています。職員室で真っ先に気になるのが「全国平均と比較して、どうなのか?」です。大きく上回っているときは思わずガッツポーズという教員もいます。

その後、「教科のどの単元や領域に課題があるか」「得点の分布状況はどうなっているか」「朝食は食べているか?」「自尊感情についての質問の結果はどうだったか?」といった内容について、校内研修で共通理解を図りながら対応策を考えます。

皆さんは、年に1回、健康診断や人間ドックを受けると思います。結果が悪かったときに、そのままほったらかしにする人はいないと思います。病院に行って精密検査が必要な場合もありますが、アドバイスに基づき、「毎日運動をしよう」「食生活を見直そう」といった対策をするはずで、学力調査もそれと同じだと思います。1クラス40名の子どもたちの様子は毎日の授業で見ればわかる部分がありますが、標準化された客観的なテストを行うことで、データによる学力や生活習慣の定着状況を指導者が知ることは大事なことです。しかし、「課題があるのに、それを見過ごす」「厳しい現実から目をそらす」ということを続けていくことは、指導者としての責務を果たしていると言えるでしょうか?

今年6月に「平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(お茶の水女子大委託事業)の結果が発表されました。この中で、学校として注視すべき内容は、SES(家庭の社会経済的背景)が低くても効果を上げている学校の特徴の分析結果です。①家庭学習習慣定着と家庭への啓発・一人も見逃さない個別指導②若手とベテランが学び合う同僚性と学校の組織的取組③小中一貫教育による一貫した学習の構え④言語活動や学習規律などを重視した授業改善の推進⑤地域や保護者との良好な関係を基盤とした積極的な地域との連携⑥学力調査の分析・活用による児童生徒一人ひとりの学力形成の6点に集約されています。どれも、当たり前ということばかりですが、調査結果の内容から目をそらす、これらのことが当たり前に見える環境を目指した学校改善を進めていくことが、今まさに、リーダに求められているのではないのでしょうか。

# 教職員の長時間勤務、看過できない問題に!!

どうする?

# 教育現場の働き方改革

## これからの具体的な取組

- I 業務改善の推進
- II 職場環境の充実
- III 部活動の在り方の見直し
- IV 教職員の意識改革

▼平成30年度(4・5月)の1ヶ月の時間外勤務時間(伊丹市)

	幼	小	中	高	特
校園長	55	60	86	-	-
教頭	65	116	147	-	-
主幹教諭 教諭	40	49	94	56	62
養護教諭	-	49	70	-	-

## 働き方改革の目的

- ① 教職員の心身の健康保持や  
ワーク・ライフ・バランスの取れた生活の実現
- ② 情熱とやりがいをもって働くことができる  
職場環境の整備
- ③ 「教職員が子どもと向き合う時間」を十分に  
確保し、学校教育の質を維持・向上させ、  
質の高い授業・保育の実現



## Point

学校園の重点課題と  
ビジョンを基に判断

**ビルド&ビルド**  
伝統、前例の重みが  
働き方を変えられない

☆そもそも何のためのもの  
かを確認し、別の手段・方法  
がないかの比較検討を行う



今ある仕事の仕方を見直す

### 【方法改善】

- 例・定時退勤日やノー部活デーの設定
- ・会議や行事の進め方改善
- ・ICTの活用による事務的な効率化と合理化

今ある仕事を見直し、減らす、統合する

### 【仕分けと精選】

- 例・部活数の縮小
- ・会議や行事の精選(整理・統合・廃止)
- ・地域のカや教師業務アシスタントの活用

一般的な業務改善

効果大

業務の役割分担・適正化

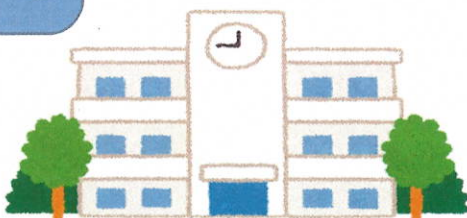
組織運営体制の在り方の見直し

職場環境の整備

勤務時間管理の徹底

「方法改善」に加えて、  
「仕分けと精選」が重要

今ある仕事の  
「当たり前」  
を見直そう



※<参考>文部科学省

学校における働き方改革特別部会資料

**スクラップ&ビルド**

カリセンの  
部屋から

# 書籍紹介



夏季休業中に総合教育センターで実施した研修にお招きした講師の書籍を紹介します。授業力向上（カリキュラム）支援センターにて貸し出ししています。



京都女子大学 教授

水戸部 修治 氏

他にも**新刊**がたくさんあります。  
詳しくは総センのwebで。  
[http://www.itami.ed.jp/?page\\_id=82](http://www.itami.ed.jp/?page_id=82)



## 小学校新学習指導要領 国語の授業づくり

資質・能力、主体的・対話的で深い学び、言葉による見方・考え方…など、様々な新しいキーワードが提示された新学習指導要領。それらをどのように授業で具現化すればよいのかを解説しています。

校内研修、研究授業から先行実施まで、あらゆる場面で活用できる1冊です。

## 質の高い言語活動パーフェクトガイド

主体的・対話的で深い学びを実現する質の高い言語活動を位置付けた授業づくりのポイント解説とともに3観点評価対応の学年・領域別の最新12事例を紹介。

再ユニット化マトリックスや単元計画シートも完全収録した新学習指導要領が目指す授業改善にすぐ役立つ1冊です。

発行 伊丹市立総合教育センター

月～金 9:00～21:00 所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482  
土 9:00～17:00

休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>